

医療の変化に 応じた人材育成

医療・福祉の最前線で活躍する卒業生たち

大阪滋慶学園は1987年の開学以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションとして掲げ、「実学教育」「人間教育」「国際教育」の三つの建学理念を基に、看護、医療、福祉、スポーツ、バイオ、再生医療、AI分野の高等職業人材を輩出してきた。専門学校に加え、大学・大学院を擁し、リカレント教育にも力を入れる。多職種協働が必須となっている医療・福祉分野においては知識や技能の習得だけでなく、連携授業や演習などを積極的に行い、業界が求める即戦力人材を育成している。今回は最前線で活躍する卒業生たちに話を聞いた。

意思決定支援に注力

独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター
大阪医療看護専門学校 看護学科 2013年3月卒

藤田 愛さん

神経内科の副部長になって3年目で、主に管理業務やスタッフの指導などを行っています。徐々に体の自由が利かなくなる方が多い病棟なので、特に患者さんの意思を尊重し未来を築いていく、意思決定支援に注力しています。また、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格も取得しており、呼吸器疾患に関する横断的なスタッフへの指導や患者さんへのアドバイスなども行っています。神経内科病棟は気管切開後、人工呼吸器を装着する方が多く、装着や管理のミスは患者さんの命に関わります。そこで、勉強会やPDCAサイクルを回しながら徹底した安全管理を行っています。今後は、時間の調整が必要ですが、医師業務の一部を看護師が担当する「タスクシェア」ができるよう特定行為研修への参加も考えています。大阪医療看護専門学校で呼吸器疾患に関する授業も担当しているので、学生と接する機会もありますが、皆さんには国家資格を取得できる知識を身に付けることを前提に、学生時代にしかできないさまざまな経験をして、人間力を磨いてほしいと思っています。その経験は看護師として働く際に必ず役に立つはずです。



呼吸リハビリの先駆者を目指す

近畿大学病院 リハビリテーション部
大阪医療福祉専門学校 作業療法士学科(昼間部) 2015年3月卒

武田 優さん

急性期の患者さんへの機能訓練や日常動作訓練などのリハビリを行っています。大学病院ということもあり、患者さんの疾患は高次脳機能障害や上肢の骨折・ケガ、神経難病などと幅広く、それぞれの方に合わせたリハビリを施しています。リハビリは患者さんにとって希望です。少しでも質の良いリハビリが提供できるよう日々研鑽を積んでいます。患者さんの機能が少しずつ回復し、「できる」という喜びを共有できるところに喜びとやりがいを感じます。現在、注力していることは呼吸のリハビリです。すでに確立され、盛んに行われている呼吸理学療法に比べ、呼吸作業療法はこれまで呼吸リハビリ教育があまり重視されてこなかったこともあり、掘り下げた研究が行われておらず介入の仕方もバラバラなのが現状です。今後は作業療法士の専門性を生かした、患者さんが楽に日常生活を送るためのリハビリを確立するため研究を重ね、先駆者を目指したいと思います。学生の皆さんは実技の習得も大事ですが、理論を理解しておかないと臨床で苦労します。専門学校での座学を大事にし、就職後に役立つ知識を身に付けてください。



初回から連続して参加いただいている 事業所担当者メッセージ

130名以上の卒業生が働く

社会医療法人 愛仁会
愛仁会本部 人事部門 部長

小山 修吾氏



愛仁会は大阪北部地域から兵庫県にまで、急性期病院や回復期病院、介護施設などを運営しており、職員数は非常勤を入れると6500人に及びます。人材の確保は経営課題の一つで、多職種の人材を数多く輩出されている大阪滋慶学園は頼もしい存在です。愛仁会のモットーは「貢献・創意・協調」で、受け身ではなく自発的に動き、地域社会に貢献できる人材を求めています。これからも協力関係を継続し、共に医療福祉業界に貢献していきたいと思っています。

国際的な視野を持つ人材育成に期待

医療法人 吉栄会
法人管理部

岡本 千代氏



吉栄会は大阪市と岸和田市でリハビリテーションを通じて地域に根ざした医療の提供を行っています。フェアには毎年参加していますが、熱意ある学生の真摯な姿勢に私たち職員も刺激を受けています。当院は専門知識だけでなく、相手の気持ちを大切にできる人、つまり、患者さんに「心から寄り添える人」を求めています。また、外国人技能実習生の受け入れも行っていますので、国際的な視野と多文化理解を持った人材の育成に期待しています。

素晴らしい人材の育成に期待

社会医療法人 山紀会
総務人事部 副次長

鈴木 健造氏



山紀会は大阪市南部の西成区や阿倍野区を中心に、病院2施設と介護4施設を運営しており、急性期から慢性期、在宅までの医療や介護関連の幅広いサービスを提供しています。大阪滋慶学園の学生は毎年数名ずつ入職しています。皆、コミュニケーション能力が高く、ひたむきに業務に取り組む姿が患者さんや利用者さんから高い評価を得ています。大阪滋慶学園には、これからも素晴らしい人材を、多く輩出していただけることを期待しています。

意思疎通能力の高い人材に

社会医療法人 ONE FLAG
牧ヘルスケアグループ 法人本部 人事部

西川 政彦氏



大阪北東エリアを中心に、予防から急性期、回復期、維持期、在宅ケアなどの病院や施設を幅広く展開しています。これまで100名を超える人材を採用させていただき、就職フェアがきっかけで入職した卒業生はマネジメント職で活躍しています。新しい法人名「ONE FLAG」に込めた「一丸」となると「Medical for Happinessを実現する」という思いに共感できる、コミュニケーション能力の高い医療人の輩出に、今後も期待したいと思います。

介護福祉業界の魅力発信に期待

社会福祉法人 愛光会
障がい者支援施設愛光園 本部長

山本 猛史氏



愛光会は信貴山麓の豊かな自然の中、入所施設を中心に、短期入所事業や居宅介護事業などの在宅サービスを充実させ、障がい者の総合的なサポートを行っています。フェアには学生に介護福祉業界に興味をもってもらうために参加しています。また、学生との対話の中で、施設運営の参考になる気づきもあります。現在、2人の卒業生がフロアリーダーとして活躍しており、仕事の効率化などに積極的に取り組んでいます。学校には介護福祉業界の魅力発信に期待しています。

共に向上心のある医療従事者の育成を

公益財団法人 唐澤記念会
大阪脳神経外科病院 看護部長

大島 佐代氏



大阪脳神経外科病院は40年前、豊中市で脳神経外科の専門病院として設立されました。急性期から回復期まで一貫した治療と看護を提供しています。今回で就職フェアへの参加が21回になるという話を聞き、感謝しています。フェアでは、たくさんの学生にブースに来ていただき、活発な意見交換が生まれました。卒業生には、管理職への道を志している将来有望な人たちもいます。これからも向上心のある医療従事者の育成に共に取り組んでいきましょう。

プロ意識とやさしさを持った人材育成を

洛和会ヘルスケアシステム
本部人事・教育部門 部長

黒田 満博氏



洛和会ヘルスケアシステムは「やさしい社会を創造する」をパーパスに掲げ、京都・滋賀・東京を拠点に医療や介護、保育、教育などの事業を展開する総合ヘルスケアグループです。毎年入職する卒業生は臨床工学士やリハビリ職、診療放射線技師などとして活躍しており、中には、管理職や法人本部で組織運営に大きく貢献している人もいます。今後も医療人を目指す者としてプロ意識を持ち、誰かを思う「やさしさ」を持った人材の育成に期待しています。

専門知識と人間力を持った人材育成を

社会医療法人 若弘会
若弘会本部 人材部 人事課 課長

花本 貴志氏



若弘会は大阪東部エリアで急性期、回復期、リハビリテーション型の病院や介護老人保健施設などを運営しています。大阪滋慶学園は即戦力の人材育成がモットーで、現場で役立つ知識とコミュニケーション能力を持つ卒業生が多い印象です。現在、45名の卒業生が看護師、臨床工学士などさまざまな職種で活躍しています。当会は「気配り、目配り、心配り」ができる、明るく元気な人を求めています。今後も「人間力」を持つ人材の養成に期待しています。

努力を惜しまない人材の育成を

一般財団法人 滋賀保健研究センター
総務部 総務課 チームリーダー

阪口 正史氏



滋賀保健研究センターは主に滋賀県内で巡回検査や人間ドックなどを手がける「総合健康管理機関」です。就職フェアは規模が大きく、お祭りのような盛り上がりを感じます。5人の卒業生が働いていますが、コミュニケーション能力の高い人ばかりで、質の良い教育を受けてきたことがうかがえます。大阪滋慶学園とは「人のつながり」を通して、有無相通じる関係を築かせていただいています。これからも、努力を惜しまない人材の育成に期待しています。

協調性と自己表現力を育んでほしい

医療法人 徳洲会
野崎徳洲会病院 事務長

折田 匡司氏



野崎徳洲会病院は救急医療に特化しており、北河内圏内で最も急患を受け入れている地域密着型の病院です。就職フェアには第1回から参加していますが、学生が主体性をもって参加しているので話しいががあります。当病院には現在、55人の卒業生が在籍しています。20年以上のベテランも複数いて、全員が責任者として病院の中核を担っています。大阪滋慶学園には、協調性を持ちながらも、自己表現できる力を育んでほしいと思います。

就職フェア2025 出展事業所

医療ブース

《独立行政法人・公立》国立病院機構近畿グループ、医業基盤・健康・栄養研究所
《医療法人（社会・特定・社団・財団含む）》大阪府済生会 茨木医療福祉センター、大阪明徳病院、協和会（加納総合病院、ハートフルクリニック、北大阪病院、淀川介護老人保健施設ハートフル）、錦秀会、清恵会（清恵会病院・三宝病院）、景岳会南大阪病院、徳洲会（松原徳洲会病院・岸和田徳洲会病院・和泉市立総合医療センター・八尾徳洲会総合病院・高砂西部病院・野崎徳洲会病院）、甲友会（西宮協立脳神経外科病院・西宮協立リハビリテーション病院）、マツシール（異病院・異今宮病院・異病院介護老人保健施設・異病院訪問看護ステーション）、篤友会（関西リハビリテーション病院・坂本病院）、菅真会ベリタス病院、杏和会阪南病院、恵生会恵生会病院、仁風会牧野病院、光風会たちばの里、朋愛会健診・医療部、清水会もりぐち清水会病院、清水福祉会、ベガサス馬場記念病院、愛仁会、隆星会、大和福寿会、松下会（白庭病院・東生駒病院・グランファミリア）、真誠会つかぐち病院、寿栄会大野記念病院、愛幸会天仁病院、薫楓会緑桜病院、千春会、明倫会（宮地病院・本山リハビリテーション病院・老人保健施設あずさ）、明生会、北斗会さわ病院、天心会小阪病院、協仁会小松病院、唐澤記念会大阪脳神経外科病院、ささき会藍の都脳神経外科病院、吉栄会、洛和会ヘルスケアシステム、有隣会東大阪病院、祐生会（みどりヶ丘病院・茨木みどりヶ丘病院）、良秀会（藤井病院・高石藤井病院・泉南藤井病院・泉北藤井病院）、隆起会整形外科クリニック、健栄会三康病院、彩樹守口敬仁会病院、きつこう会、清仁会（シミズ病院・洛西シミズ病院・洛西ニュータウン病院・龜岡シミズ病院・シミズふないの里・シミズひまわりの里・シミズ四条大宮クリニック）、寺田萬寿会寺田萬寿病院、正正会分野病院、聖聖会（八幡中央病院・京都八幡病院・学研都市病院）、弘善会グループ、須徳会

グループ（須徳会・須徳福祉会）、医真会（八尾総合病院・総合クリニック・八尾リハビリテーション病院・介護老人保健施設あおぞら）、せいわ会大阪たつみリハビリテーション病院、えいしん会岸和田リハビリテーション病院、せいふう会（川西リハビリテーション病院・伊丹せいふう病院・阪神リハビリテーション病院・宇治リハビリテーション病院）、藤井会、美杉会グループ（佐藤病院・男山病院 他）、春秋会城山病院、新生会高の原中央病院、大道会、山弘会上山病院、甲南会（甲南医療センター・六甲アイランド甲南病院）、芙蓉会（南草津病院・ケアタウン南草津）、若弘会（若草第一病院・わかぐさ電門リハビリテーション病院）、石鐘会（京都田辺中央病院・京都田辺記念病院・同志社山手病院）、やすらぎ保育園・介護老人保健施設やすらぎ苑）、寿山会、育和会育和会記念病院、平成医療福祉グループ、大阪国際メディカル&サイエンスセンター大阪けいさつ病院、敬誠会合志病院、やすだ堀口記念病院、小豆島中央病院、栄公会佐野記念病院、三車会貴志川リハビリテーション病院、明寿会（林原整形外科・JOIN 鍼灸整骨院）、十善会野瀬病院、恒昭会（藍野病院・藍野花園病院・青葉丘病院）、祥和会脳神経センター大田記念病院、京都府社会福祉事業団、橘会（東住吉森本病院・東住吉森本リハビリテーション病院）、岡本病院（京都岡本記念病院・くみやま岡本病院）、昭主会南芦屋浜病院、浅香山病院、朗源会おおくま病院、アールアンドオー（静岡リハビリテーション病院・しずおか整形外科病院）、愛泉会愛泉会病院、信愛会交野病院、協和会（川西市立総合医療センター・箕面市立病院・協和会病院・千里中央病院・協立記念病院・第二協立病院・協和マリナホスピタル）、ONE FLAG 牧ヘルスケアグループ、滋賀保

健研究センター、弘道会（守口生野記念病院・なにわ生野病院・豊島生野病院・寝屋川生野病院）、ホロニクスグループ医誠会、水口病院、畿内会岡波総合病院、回生会京都回生病院、信和会（明和病院・めいわりハビリテーション病院）、三宝会南港病院、清水会（京都リハビリテーション病院・脳神経リハビリ北大路病院）、青松会（河西田村病院・介護老人保健施設バインドーム）、成和会、日の出医療福祉グループ、一祐会寝屋川・藤本病院グループ、寿栄会ありまうげんホスピタル、医進会高石加茂病院、尚和会（宝塚第一病院・宝塚リハビリテーション病院）、鴻池会秋津鴻池病院《組合》尼崎医療生協病院、コープおおさか病院《株式会社・その他》メディック堺、キリン堂、I&H、サンドラッグ、ピースプラント、アカカベ、ファルコバイオシステムズ、ファルコファーマシーズ、シップヘルスケアホールディングス、メディック、協和商事（オーエスドラッグ・オーエス薬局）、マツモトキヨシグループ、ココカラファイングループ、スギ薬局、シアアイ・パートナーズグループ、Smile Group、キックオフ チャイルド・ケアセンター、ミック・ジャパン（ミック健康の森・ドラッグミック・ローンドラッグミック）、近畿予防医学研究所（オー・ピー・エル）、キャンノンITSメディカル、ピーシーエルジャパン（病理・細胞診検査）、メディカル・エキスパート、コスモファーマグループ、アイディエス、大阪血清微生物研究所、リハビリ特化型デイサービスリハテラス

福祉ブース

《医療法人（社会・特定・社団含む）》創生会、神明会、山紀会、KHS（きつこう会ヘルスケアシステム）、大洞会グループ、

徳洲会介護老人保健施設吹田徳洲苑、平成医療福祉グループ（福祉部門）、中央会（介護老人保健施設ローランド・なにわローランド・尼崎中央リハビリテーション病院・介護医療院トワイエ尼崎）、健和会介護老人保健施設ふれあい、興世会介護老人保健施設石きり、鴻池会（介護老人保健施設設鴻池荘・グループホーム琴弾の家）、浩治会《社会福祉法人》聖隷福祉事業団、和悦会、ウエル清光会、恩賜財団大阪府済生会泉尾医療福祉センター、恩賜財団大阪府済生会中津医療福祉センター、大阪府社会福祉事業団、聖ヨハネ学園、愛和会、水仙福祉会、慶生会、幸和会ふるの、育福会特別養護老人ホームコティコート北大阪、天心会、正武福祉会特別養護老人ホームさくらくろ苑、多邦会、宝塚さざんか福祉会、みおつし福祉会、こばと会、青野が原福祉会特別養護老人ホーム青都荘、桃林会（とりかい白蘭園・游園）、加島友愛会、ヒューマンライツ福祉協会、ふれあい共生会、三養福祉会特別養護老人ホーム眞面の郷、玉美福祉会、東寿会、英芳会、松柏会、南山城学園、隆生福祉会、阪神福祉事業団、淳風会、石井記念愛染園、大阪府障害者福祉事業団、青山会、ラポール会、聖徳園、川福会、成光苑、基弘会、光輝会障がい者支援施設隆光学園、ふたかみ福祉会、産経新聞厚生文化事業団、福知山学園、愛徳福祉会（南大阪小児リハビリテーション病院・大阪発達総合療育センター）、弘道福祉会、慈仁会、ほしの会、名張育成会、愛光会障がい者支援施設愛光園、弘仁会、みなと寮（救護施設・特別養護老人ホーム）、正心会さざさう園ハビネス川西、ともじ福祉会、南湖会、聖徳会、大阪白濁館《組合》尼崎医療生活協同組合《株式会社・その他》ワイズアップ愛丸グループホーム、

Gotoschool、スパコ・ケア・エンジニアリング、CLAN、タスク・フォース、就労移行支援事業所ぶらす、ワイザスライフ、TS コーポレーショングループ、SOMPO ケア、NSA、ツワイ、絆ホールディングス、ハーフ・センチュリー・モア

鍼灸・柔整ブース

《株式会社》and、MAILE、Dr. トレーニング、T.L.S、ICHINOSHIKI、ジオナ、わだちグループ、春、New Gate、フューチャーシップ、クラシオン、AZ、カラダのミカタ鍼灸整骨院、ミライズ、あい・グループ、Healing Hand、TAG、nobitel、リフレッシュハンズ、MOVEACTION、N-LaBo、グッドライフ、サンキューグループ、にほん整体、楽笑、indomitable、サンズ、サンライズ、GODHAND、prime coco、e-rise、健康 JAPAN、日本セラピー、AMBER、HITOMIO テクノロジー、givers、NOMOKOTSU、ヒューマンアジャスト、メディカルアース、あつ崎、真聖、スマイル、エルフレッシュ鍼灸接骨院グループ、マーサメディカル、ハートメディカル、KOSHIKI、心身堂グループ、KMC、HS コーポレーション、EMPOVERMENT、マデココーポレーション、Rieden、Loop Quest、Medical One Japan、ゆうしん、ハレlin、くまのみ、ひかり L&A、GENKIDO、iCure テクノロジー、Sakura Street、緑鍼灸整骨院、SYNERGYJAPAN、アーチ、TenAnt、リーフ、シー・エム・シー、あおば HD、Y・O・I JAPAN、EternalSmile、《有限会社・その他》モリワケメディカルグループ、スマイルストーリー、エーゲメディカル、Optimal、西院FREE整骨院、J-RADIANCE、笑顔道鍼灸接骨院、すずらん鍼灸接骨院グループ、三田やすらぎ整骨院・鍼灸院、ODAJINI 鍼灸整骨院、こじま、TREE 鍼灸整骨院、トータルケアまえいけ、ながとも整骨院

【敬称略 順不同】

学校法人大阪滋慶学園

就職フェア2025 開催

■業界、事業所の最新状況に触れられる機会を提供

大阪滋慶学園は医療・福祉系への就職を希望する学生と求人事業所をマッチングする「就職フェア2025」を大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で開いた。今回のテーマは「目指す道へ踏み出そう～自分のために、社会のために～」。

同学園グループの学生約1460人と、同会場では最大となる301事業所が参加した。

21回目を迎えた大阪滋慶学園の就職フェア。参加を希望する事業所は増え続けており、今回は新型コロナウイルス禍以降では最大規模となった。専門学校が主催する大規模就職フェアは他に類を見ない。また、医療・福祉分野を中心に、幅広い人材を育成していることから、求人を希望する事業所のフェアへの評

価は非常に高い。継続して参加する事業所も多く、今回は第1回から欠かさず参加している10事業所に感謝状が贈られた。

開会式で橋本勝信常務理事は「医療・福祉分野は多職種協働、時代に入っている。今年は医療・福祉業界の連携が始まる節目の年になる。今回の就職フェアにも医療・福祉業界の多くの職種の人が参加しており、学生は現在の時代背景、業界を学び、成長につなげてほしい」と学生たちに呼びかけた。

医療・福祉の現場では患者に寄りそう役目を看護師、介護福祉士、リハビリテーション系の職種が担っており、AI（人工知能）などの新しい技術を取り入れながら多職種協働に向けた連携が進んでい

る。大阪滋慶学園は「実学教育、人間教育、国際教育」をビジョン（理念）に掲げ、38年にわたり医療・福祉職の人材を育成してきた。現在は、連携授業や演習に加えて、ヘルステック「医療支援、研究開発、未病予防、生活支援、見守り介護『ロボット、AI』」教育なども充実させ多職種協働時代に対応できる人材育成に力を入れている。

就職フェアは学生にとって、変化の進む業界や事業所の最新情報を知ることができる貴重な機会となっており、学生の半分近くが就職先を決める場になっている。大阪滋慶学園は今後も時代の変化に合わせてさらにブラッシュアップし進化させながら開催していく。

2025年4月現在

学校法人大阪滋慶学園	国家資格 総取得者数		
看護師	5,628名※1	はり師	2,286名
理学療法士	1,967名	きゅう師	2,299名
作業療法士	1,496名	診療放射線技師	147名※2
臨床検査技師	1,885名	介護福祉士	2,296名
臨床工学士	3,173名	精神保健福祉士	1,620名
柔道整復師	2,512名	社会福祉士	1,140名
言語聴覚士	1,431名	救急救命士	2,342名
視能訓練士	1,377名	歯科技工士	6,862名
保育士	527名	歯科衛生士	2,299名

※1：通信教育含む ※2：2023年度より



第1回から継続して参加している事業所に対して感謝状が授与された

第7回アジア臨床工学フォーラム 活発な意見交換大阪で開催

医療機器の進化は「臨床工学」分野を生み出した。新たな医療機器の開発が相次ぎ、世界各国での活用が進むに伴い、臨床工学の存在意義も高まっている。大阪滋慶学園では、国内における臨床工学士養成にとどまらずにアジア各国の臨床工学の発展につながる取り組みを進めている。

大阪滋慶学園は2012年、「医療の質と安全」を探究する滋慶医療科学大学院大学（現滋慶医療科学大学）の開学1周年を記念して、「第1回アジア臨床工学フォーラム」を開催した。その後、日本と

アジアにおける臨床工学の発展、人材の相互交流を目的に、中国の医師協会や提携校と共同で開催してきた。

25年11月1日（土）には7回目となるフォーラムを新大阪ワシントンホテルプラザ イベントホールで開催する。今回のテーマは「アジア臨床工学の生成AIの発展と医療安全への貢献」で、中国やバングラデシュ、フィリピンなど7カ国が参加予定。臨床工学士の技術力や質の向上を図るため報告や意見交換が活発に繰り広げられる。



第6回アジア臨床工学フォーラム ㊤中国会場 ㊦日本会場

専門学校教育の良さを伝える機会に

学校法人 四條学園
四條学園高等学校 教諭
田中 茂雄氏

大阪滋慶学園には当校の総合キャリアコースで行うキャリアデザインの授業でご協力いただいています。医療福祉系の仕事に興味を持つ学生が専門学校に出向き、臨床工学や言語聴覚などの授業を受けます。まさに「百聞は一見に如かず」で、学生のキャリア形成に役立っており、専門学校への進学率も増加しました。今回のセミナーが専門性や国家資格取得など、即戦力として活躍できる能力を身に付けられる専門学校教育の良さを伝える機会となることを願います。

就職フェア2025 参加学生の声

「縁の下の力持ち」として支えたい

大阪ハイテクノロジー専門学校 臨床工学士科(昼間部) 3年
西森 琥汰朗さん

私は医療ドラマで取り上げられるような医療従事者にあこがれ、漠然とですが医療業界を志すようになりました。中でも、機械に触れることが好きだったこともあり、医療機器を操作する臨床工学士を目指ことにしました。人工心肺を接続する授業では患者さんの生命活動を維持する方法を学び、大変さと、責任の重さを感じるとともに、この作業を毎日、長時間行う先輩方に深い尊敬の念を抱きました。キャリアセンターや学校の先生には親身になって就職の相談に応じていただきました。また、日ごろからアドバイスや声掛けもしてくださり本当に感謝しています。臨床工学士は患者さんに直接かかわることはありませんが、医師や看護師などさまざまな職種の人と連携する必要があります。周りの人から頼られ、厚く信頼してもらえる「縁の下の力持ち」として皆を支えたいと思います。

安心して任せてもらえる臨床検査技師に

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科 3年
宮地 雅光さん

がん治療に関わる仕事がしたいと考え、医療の道を志しました。学内説明会で臨床検査技師という仕事があることを知り、その業務内容の幅広さに興味を持ち、大阪医療技術学園専門学校に進学することにしました。臨床で実践を学ぶ臨地実習では、それまで理解していたつもりでも、実際の検体を前に行うと分からないことが多く、臨床検査技師の仕事の難しさを痛感し、より学びを深めていきたいと思いました。就職活動では、キャリアセンターを活用しました。先輩方の体験談や面接情報など、役立つ情報が数多くあり、就職先を検討する上でとても参考になりました。臨床検査技師は患者さんとかかわることや医師や看護師などの医療スタッフと連携することが多い仕事です。皆に信頼され、安心して仕事を任せてもらえる人になれるよう努力していきます。

頼りになる介護福祉士に

大阪保健福祉専門学校 介護福祉科 2年
仲谷 葵さん

小学生の頃、障がいを持つ男の子をサポートした経験があり、その時にもらった「ありがとう」の手紙がうれしくて、将来は介護福祉士になりたいと思うようになりました。

高校2年生時に参加した、子どもたちや高齢者のやりたいことを実現させる「夢を叶えるプロジェクト」で大阪保健福祉専門学校を知り、進学を決めました。学校では講義だけでなく充実した実習が印象に残っています。特に、人それぞれに症状が違い、個別のケアが大切なことを学びました。就職フェアはもちろん、キャリアセンターのサポートでたくさんの方の事業所を紹介いただき、これから進路を絞っていききたいと思っています。

新しい知識も必要なので日々事例の勉強も続けながら、将来は利用者に頼ってもらえる職員を目指したいと思います。